

喜びを常に求める

ポポン・エマニュエル神父

祈ることは自分の心に入ることから始まります。心に入ってみると、何がありますか？よく出てくるのは今の生活に関する心配や不安でしょう。もっと深く入ってみると過去からの思い出も出てくるでしょう。思い出による怒りや罪悪感を感じてきます、その一方嬉しい思い出がある場合はその嬉しさを少し感じます。生活に対する満足度による内面の状況が大きく変わると思います。

人生がうまく進んでいると感じたら、今を思い切り味わえますが、不安にすぐ襲われてしまい、「今の状況が終わってほしくない」という気持ちになりつつあります。嬉しい時でも不安を抱いてしまいます。心の状況が不安だらけになります。従って、心の中に入るのが怖くなってしまいます。しかし心の中に入っていないと人生に欠かせないものを失ってしまいます。

海星女子学院の修学旅行に行った時にことばの祭儀を行いました。その時ヨハネによる福音書の15章9-16を朗読しました。その箇所の中で主イエスは「わたしの愛に留まりなさい」と言ってくれます。「留まりなさい」を聞く時に私は命令でもなく、招きでもなく、イエスが願っているように聞こえます「わたしの愛にとどまってください」。そしてイエスはこう言ってくれます「これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。」と。

その言葉は心の中で深く強く響きます。不安を感じても、私たちの喜びを望んでくださるものがいます。主イエスは私たちを自分の喜びの内に招いてくださいます。つまり、私自身が喜びを感じなくても、主イエスの喜びを求めることができます。その喜びを手に入れられないかぎり、その喜びをしつこく求めてもいいです。求めなさい、与えられる。これからは不安を感じて、祈るために心に入れなくなった時、主イエスがいてくださることを思い出していきたいのです。祈ることは自分のどんな状況、どんな人生の不安にもかかわらず、まずイエスの愛にとどまることです。そしてその喜びを求めることです。今度祈るために心に入ってみたら、私たちの喜びを望むイエスが待っているのを信じましょう。

住吉教会 Fiesta バザー 11月11日(日) 11時ごろ～

具たくさん豚汁 ちらし寿司 ぜんざい ホットドッグ

ペルー料理 からあげ コロッケ 喫茶コーナー

ホーリーショップ リサイクル衣料 手芸品 雑貨 ゲームコーナー他